

思い出発表会をしよう

1 活動の概要

保護者や地域のボランティアの方々に見守られた温かい雰囲気の中で、幼児が 1 泊 2 日の宿泊体験の楽しかった思い出を発表する活動。

2 活動のねらい

- 幼児が保護者や地域のボランティアの方々の前で発表し賞賛される活動を通して、幼児の自己肯定観を高める。
- 地域で子育てを考えていこうとする機運を高める。

3 準備するもの

- 活動を振り返ることができるような写真や活動プログラム
- 発表に必要な具体物（クラフト作品、捕まえた虫など）

4 活動場所

屋内ホール

5 活動の展開

(1) 事前の取り組み

保育所では、発表するための準備として、みんなの前に立って声を出したり、あいさつをしたりする練習を行った。

(2) 思い出発表会次第

- ①はじめのことば
- ②みんなで歌おう（読み聞かせボランティアの方に習った歌をみんなで歌う）
- ③園長先生の話
- ④グループでの話し合い（グループの中で発表することで、全体の場で自信を持って発表できるようにする。）
- ⑤思い出の発表（グループごと前に出て、一人ずつ発表を行う。）
- ⑥ボランティア代表の話（幼児の様子を振り返って、よかった感想を話す。）
- ⑦おわりのことば

(3) 地域のボランティアとのふれあい

- 出席していただいたボランティアの方々のところへ行きお礼を言う。
- ボランティアの方々に、がんばったことや作品について話してもらう。

(4) 保護者とのふれあい

発表会終了後、幼児は作品や捕まえた虫を持って保護者のところへ行き、体験したことについて親子で話し合う。



【自慢のクラフト作品】



【グループでの話し合い】



【思い出の発表】



【発表会場のようす】

6 子どもの活動と留意点

○緊張感から発表できない子どもがいるが、そばに寄り添って助言したり、場合によっては、代わりに発言したりすることも考えられる。また、発表することがなかなか決まらない子どもには、グループでの話し合いの際に、他の子どもの意見を参考にさせるなどの支援を行う。

○事前説明会で保護者に「思い出発表会」のねらいを十分理解してもらい、全ての子どもを認め、賞賛する意識を持って参加してもらうようにする。

○保護者が参加できない子どもには、指導者やボランティアが対応するなど配慮が必要である。

7 活動の発展・応用

○園 で…地域のボランティアの方々と継続して交流 等